

令和4年度和光市立北原小学校 第3回学校運営協議会 議事録

日 時 令和4年9月12日（月）14：00～15：30

参会者

（学校運営協議会委員） 有山 悦子 様、本多 修 様、並木 照一 様
山西 葉子 様
校長 船越 一英、教頭 岡田 智彦（事務局）

《次第》

- 1 開会
- 2 校長挨拶
- 3 1学期の教育活動報告及び2学期の教育活動について
（1学期報告）
 - ・6年修学旅行、社会科見学、5年林間学校は無事実施できた。
 - ・7月中旬に陽性者が急増した。
 - ・多くの行事をオンラインで実施している。保護者の参観等は実施できていない。（2学期予定）
 - ・2学期当初から感染症拡大状況は落ち着いている。
 - ・現在、運動会に向けて練習が進んでいる。
 - ・全国学力テスト、県学力テスト共に県の平均を超えた。
 - ・11月に音楽会を計画している。
 - ・12月に校内研修の発表会と授業参観を計画している。
- 4 工事について
 - ・和光版MARSに係る外環側道工事
 - ・和光市小・中学校特別教室空調設備増設及び交換工事
- 5 協議・情報交換
- 6 閉会

【協議・情報交換】

委員「市内では、朝の検温等に地域人材を活用していると聞いている。北原小でも職員や交通指導員が病気になった際など、必要な際はどんどん声をかけてほしい。学校運営協議員は学校の中にどんどん入って行って協力するものと思っている」

学校「大変ありがたい。そのようにさせていただく。検温については1学期末より新たな機器を導入し、スムーズな登校ができるようになった」

委員（CS コーディネーター）「地域学校協働本部ということで、8月に会議に参加してきた。今は学校それぞれで行っている学校応援団事業を市内協力して進めていこうというような取り組みが進んでおり、現在、中学校区に分けて会議を行っている。北原小は大和中学区に入っており、他校のコーディネーターとも情報交換をしている。現在、協力者のリスト作成依頼が来ているが、本校の応援団はあくまで本校の応援団であるので、和光市の協力者としてそのまま報告することは現状では難しいと考えている。委員のみなさまの意見を聞かせてほしい」

委員「市内各学校の応援団が機能していたりしていなかったりする状態なので、各学校のそれが機能するようにすることが先決ではないだろうか。北原小でもコロナ禍により応援団に対する要請が滞っている状況で、市内のほうに協力者を紹介していくのは難しい。まずは校内での活動を再開したい」

委員「学校のこと学校で何とかなのであればそうしたい。特別な資格を持った方や和光市全体の歴史に詳しい方などは紹介できるのであればそうしたほうがよいと思う」

委員「玄関に熱中症警戒指数を計測する機械があったが、使用効果は出ているのか」

学校「6月から計測を続けている。7月の大変暑かった頃には毎日のように指数が規定を超える時期があったので、教頭が休み時間のたびに確認し、規定の数値に近づいたり超えたりした際は全校放送により屋外や体育館での活動を中止するようにしていた。現在のところ、校内で熱中症の児童は出ていない」

委員「行事計画によると学校公開日の前日に児童向け音楽会が設定されているが、どのような形で開催するのか」

学校「全校集合はまだ難しいと考えている。低中高ブロック内ではできるだけ見合い、全校に対してはオンライン配信を教室で観るという形で考えている。翌日の保護者の部も、低・中・高に分けて観覧していただきたいと考えているが、感染状況により難しいようであればオンラインでの配信も視野に入れている」

委員「保護者にはぜひ学校に実際に来て、子供たちの姿を見てほしい」

委員「通学路において傾斜地に3件同時の宅地造成をしており、先日大雨で道路に泥が流れ出すことがあった。注意したほうがよい」

学校「職員と情報共有し、学級指導で注意喚起する」

以上